

別記様式

		担当課	中央公民館
会議の名称	第2回 鴻巣市公民館運営審議会		
開催日	令和6年2月9日(金)		
開催時間	10時00分 開会 ・ 11時40分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所本庁舎別棟 1001会議室		
議長(委員長・会長)氏名	委員長 竹内茂雄		
出席者(委員)氏名(出席者数)	浦山拓之、三瓶美穂、竹内茂雄、小川はるみ、中根節子 長島祥一、齋藤美知枝、今野久夫、今西和夫、 酒巻貞夫(10名) *敬称略		
欠席者(委員)氏名(欠席者数)	新井みほこ、竹井史子		
事務局職員職氏名	中央公民館長 新井隆司 箕田公民館長 島村信行 田間宮生涯学習センター所長大島和之 あたご公民館長 佐藤康夫 常光公民館長 榎本智 笠原公民館長 春山一雄 吹上生涯学習センター館長 細野兼弘 川里生涯学習センター館長 山縣一公 北新宿生涯学習センター館長 吉田隆一 中央公民館主任 小宮幸治 中央公民館主任 山本太郎		
傍聴の可否(傍聴者数)	希望者なし		
会議の内容	1 開会 2 あいさつ 3 報告①令和5年度公民館事業報告について 4 報告②令和6年度(前期)公民館事業実施計画(案)について 5 報告③前回運営審議会の指摘事項について 6 その他 7 閉会		
	<b>【質疑応答、決定事項等】</b> 1 開会 2 あいさつ 3 令和5年度公民館事業報告について説明を行い、次のような意見があった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施講座について、健康維持や地域の歴史等ニーズに合わせて目的別に分類したほうが見つけやすい。 ⇒県の調査で成人・青年という分類となっている。市民の方には、見やすい募集、わかりやすい表示の仕方を考えている。</li> <li>令和5年度の事業報告について、どのように評価・改善し、新しい事業計画に反映したかがわかるよう、数字だけでなく「こういう考え方で事業計画を作りたい、新しい事業としてはこういったことをやりたい」ということを書いてもらおうと、公民館自体の問題意識が、明確に一般市民の方に繋がるのではないかと。 ⇒事業報告の様式は今後わかりやすいようにしたい。</li> <li>今の日本社会は、年齢層ごとに交流が寸断されていると取り上げられている。公民館の講座は、対象とする受講者の年齢を幅広く開催していく考えはないかと。 ⇒親子で参加できる親子木工教室を実施しているが、子どもから大人までを対象</li> </ul>		

とした講座は少し難しい。

- ・ 獅子舞を若い方に継続していくのは難しい。目標があればそこに集えるので、諦めずにやっている。公民館で情報提供をしてもらい助かっている。工夫して連携していきたい。

4 令和6年度(前期)公民館事業実施計画(案)について説明を行い、次のような意見があった。

- ・ 高齢者の脳の活性化として麻雀が興味を持っている人も多い。各館計画等あるか。  
⇒令和6年度講座予定で、現時点ではない。活動サークルもあり、どのように実施できるか他市町村の例や含めて検討したい。
- ・ 新規事業をサークルや個人で始めようとした場合、審査委員会などがあるのか。  
⇒ 審査等は特にない。公民館講座としては、講師から提案等で新しく講座を考えるとといった方法はある。
- ・ 生涯学習課の講師登録をして、登録講師に依頼するということか。  
⇒生涯学習課登録頂いている人材バンクについて、市民の方を中心に登録頂き、公民館でも名簿を確認し、講座開催するという方法も一つの手段として行っている。
- ・ 社会福祉協議会と共催・関係性を持ちながら進めていくと活動も広がると思う。
- ・ 公民館が主体で講座を行い、仲間が集まりサークルとなり公民館が活用されるよう、講座が火付け役となるのが有効だと思う。  
⇒講座を受けた方がサークル活動に発展することもある。公民館連絡協議会で意見交換し、県内外の情報収集をして参りたい。
- ・ 大きく世の中が動いているときに、高齢者の福祉向上・介護予防といった、大きなメガトレンドを講座にして地域の市民の人たちに提案していければ、より満足度も高まると思う。  
⇒メガトレンド、詐欺の対策についても、警察と連携をしてできるか、庁内の関係各課と協議して公民館で開催できるか検討。NISAについて、中央公民館で今月末開催。人気が高い。世界情勢も常に把握しながら、取り入れていきたい。
- ・ ICTや福祉や介護、販売マーケティング等、できる人は鴻巣市内たくさんいると思う。それが顕在化されてないので、そういった人たちを探して公民館の活用率も上がるのではないかと考える。
- ・ 公民館講座等に参加したいと思っている若い人はたくさんいるが、子供たちの面倒を誰が看るのか、という若いママさん達が多い。子供のキッズマネー講座や若いママさんを一緒に含め家計簿の付け方講座を考えている。突然投資の話をするよりも、身近な家計を預かっているママさんたちが、お金の管理等ができるような講座も必要と思う。スマホ講座一部をズームの講座にして、使い方をわかっていただいて、市民に対して、学ぶ意識を外に向けた手段として提案する。  
⇒ズームに関連し、YouTube の関係等含め検討は一度している。ハードの面で録画に関しては、鴻巣市の資材で可能。ライセンスの問題、著作権がどこに波及するのか、ということもあり実現できていない。他の課や自治体等の情報収集を行う。

5 前回運営審議会の指摘事項について説明を行い、次のような意見があった。

- ・ 公民館の災害避難所として、食料の備蓄など、機能はどれくらいあるのか。どのように受け入れをするのか。

	<p>⇒公民館は地域防災計画上で、鴻巣市の場合は福祉避難所となっている。災害時に関しては、小学校・中学校が先に開設となる流れだが、災害対策本部より指示が出た場合、福祉避難所として開設し、順次受付。</p> <p>実際のところ、本部の決定が無くても避難者の方が来られる可能性が高い。震度5弱以上で、職員が参集し、避難所マニュアルを基に受け入れる。本部の命令が出ていない場合は、危機管理課と調整を行いながら対応する流れとなっている。避難所となっているので、毛布・食べ物、水の備蓄はしており、50食分の初期対応の備蓄はあるが、基本的には風水害等を対象としていることから充足できるような備蓄は無い。必要なものはご自身で事前準備していただくことも必要。市のHP等でもどのようなものを準備したらよいか公開しているので参考にさせていただきたい。</p>
<p>配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・令和5年度公民館事業報告について 資料1</li> <li>・令和6年度(前期)公民館事業実施計画(案)について 資料2</li> <li>・前回運営会議の指摘事項について 資料3</li> <li>・資料1令和5年度公民館事業報告 補足資料</li> </ul>